

嘉麻市ブランディング推進について

令和8年6月12日
嘉麻市ブランディング検討委員会
(総合政策課取扱)

1. 背景と目的

●背景

- ・人口減少・少子高齢化の進行
- ・地域間競争の激化
- ・情報発信手段の多様化
- ・地域資源の再評価の必要性

●目的

- ・市の魅力を市内外へ発信
- ・市民の愛着・誇りの醸成
- ・関係人口・交流人口の拡大
- ・地域経済の活性化

単なるPRではなく、“選ばれるまち”になるための取組

2. 自治体ブランディングとは

単なるロゴ・キャッチコピーではなく

- 地域の「価値」「個性」「強み」を内外に伝える戦略的取り組み
- 市民の誇り・共感を育む「共通認識」づくり
- 行政・住民・事業者が一体となった“まちのストーリー構築”

3. ブランディング推進のメリット

- 地域経済の活性化
特産品の付加価値向上、販路拡大、ふるさと納税への波及
- 観光・交流人口の増加
イベント来訪者増、SNS等による情報拡散
- 市民意識の向上
郷土愛・シビックプライド醸成、若い世代への地域理解促進
- 定住・関係人口への波及
「住みたい」「つながりたい」地域へ

4. 今後の推進について

KAMAブランド(仮称)認定制度の検討 ※制度内容は現在検討中であり、今後整理予定

- 制度創設の趣旨
 - ・地域資源の磨き上げ
 - ・市の統一的PR
 - ・地域産品等の付加価値向上
 - ・観光、ふるさと納税との連動強化
- 資源現在の検討状況
 - ・幅広い地域資源を対象とする方向
 - ・事業者育成も視野に制度設計を検討
 - ・客観性・透明性を踏まえた審査方法を協議中
 - ・認定後のPR・販路支援のあり方を整理中
- 目指す方向性
「認定して終わりではなく、“育てる制度”」

4. 今後の推進について

情報発信・イベント展開

- 情報発信
 - ・SNS活用強化
 - ・動画、写真による発信
 - ・若年層向けPR

- イベント展開
 - ・市内外イベントへの積極参加
 - ・物産・観光PR
 - ・民間事業者との連携

5. 推進体制:嘉麻市ブランディング検討委員会

委員長

神代副市長

副委員長

小林総合政策課長

本部員

縄田人事秘書課長、古賀デジタル戦略課長、
原田産業振興課長、飯田農林振興課長、
西田総合政策課参事、山本デジタル戦略課長補佐、
山本産業振興課長補佐、坂本農林振興課長補佐、
山口総合政策課長補佐、藤崎総合政策課長補佐
伊藤総合政策課長補佐

【事務局】総合政策課

藤内地域ブランド推進担当係長 山崎主事

■ 所掌

委員会は、次に掲げる事項について総合的検討を行い、基本的な方向性を決定するものとする。

- (1) 市のブランディング構築に関すること。
- (2) 市の特産品開発に関すること。
- (3) その他委員会において特に必要と認める事項に関すること。

令和7年度第1回嘉麻市ブランディング検討委員会

日時 令和7年7月28日(月) 10時00分

議題 嘉麻市ブランド推進について

令和7年度第2回嘉麻市ブランディング検討委員会

日時 令和8年3月16日(月) 10時00分

議題 KAMAブランド(仮称)認定制度について

令和8年度第1回嘉麻市ブランディング検討委員会

日時 令和8年5月1日(金) 10時00分

議題 KAMAブランド(仮称)認定制度について

6. 取組スケジュール

内容	令和8年度												令和9年度
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
KAMAブランド 認定制度検討	検討												随時見直
KAMAブランド 認定制度設置									設置				
嘉麻市ブラン ディング検討委 員会		開催 ①	開催 ②			開催 ③				開催 ④	開催 ⑤		年2回

7. まとめ

- 嘉麻市ブランディング推進に向けて
 - ・地域資源を活かした魅力発信
 - ・官民連携による継続的な取組
 - ・地域経済活性化への波及
 - ・市民が誇れる“嘉麻市ブランド”の形成

最後に

「市民・事業者・行政が一体となったブランドづくりを推進」を目指す